

雷保護設備凡例

番号	記号	名称
D	-----	受雷部 (1-階段手摺利用 2-タラップ利用 3-ヘリポート手摺利用 4-アルミデッキ利用 5-風向指示計・風速計支柱利用)
I	2. 0×1.3 鋼線 (PF 2.8 保護管)
K	++++	2. 0×2.5 (アルミ線)
		導線取付金物 1-貼付型 2-ルーバー用 3-床用 4-鉄骨用 5-Nラック付 6-コンクリート用 取付ピッチ 水平@600 垂直@1000
M		保護管取付金物 コンクリート用
N	○	1-ラウンドコネクタ (アルミ製)
	◇	2-水切端子 パラベット用 片側端子 (内側: アルミ製, 外側: 黄銅製)
	◇	3-水切端子 (接地用)
	▽	4-接続端子 (内側: アルミ製, 外側: 黄銅製)
	▽	5-タラップ用接続端子
	▽	6-手摺用接続金物
	■	7-手摺用接続端子 (アルミ製)
P		鉄筋用クランプ * 1ヶ所に2個使用
Q	□	中継用端子箱 露出型 SUS製
	□	2端子付 TB-SS1
R	□	接続用端子箱 露出型 SUS製
	□	2端子付 TB-SS1
S	□	接地銅板 1. 5 t×600×600* 1ヶ所に2枚埋設
X	●	接続金物

JIS A 4201-2003 準拠

保護レベル	回転球体法 R (m)	保護角法 h (m)						メッシュ法 幅 (m)	引下導線の平均間隔 (m)
		20		30		45			
		a (°)	a (°)	a (°)	a (°)	a (°)	a (°)		
III	45	45	35	25	*	*	15	20	

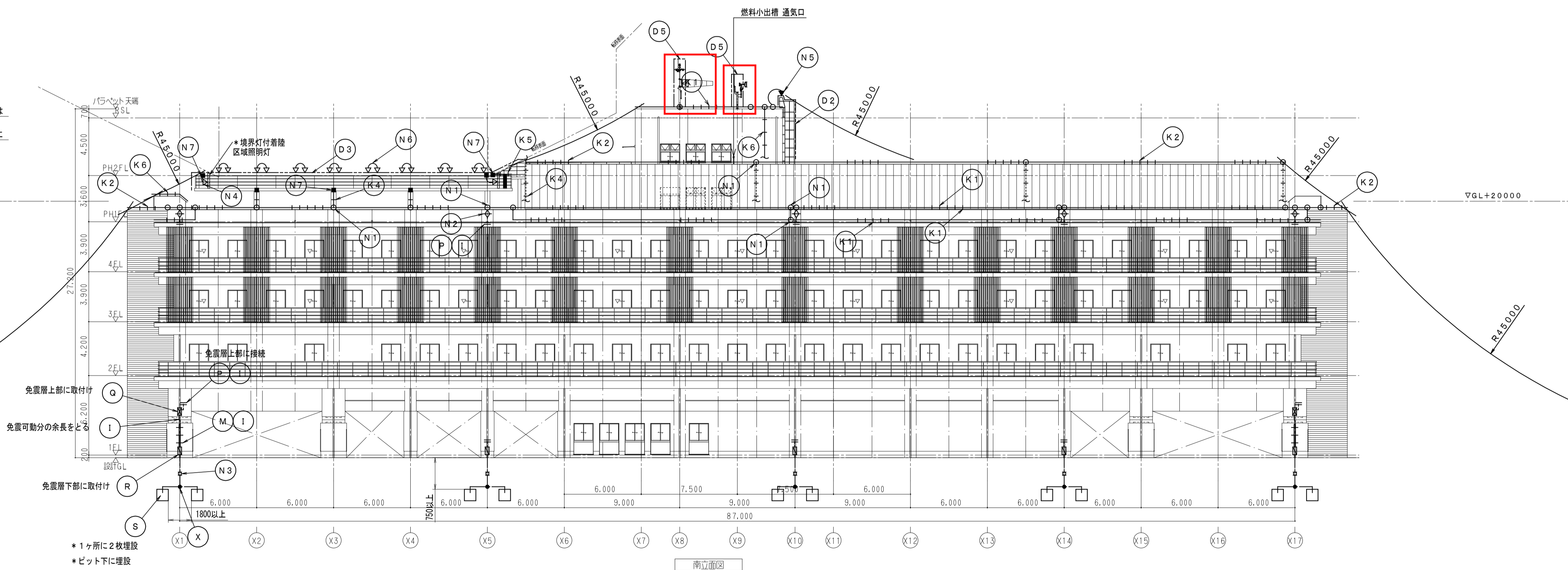
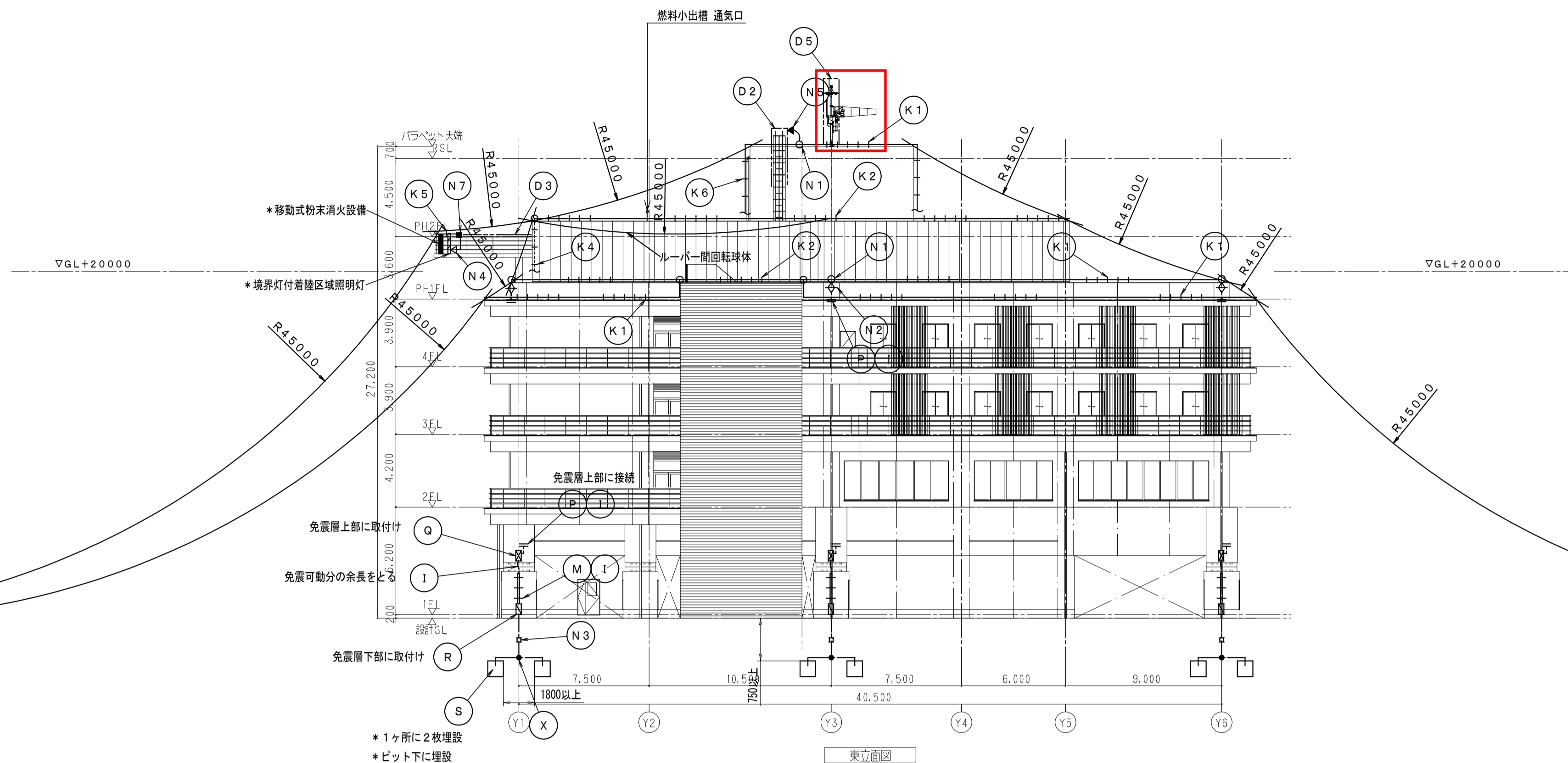
* 回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

- 備考 1. Rは、回転球体法の球体半径。
 2. hは、地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、hを陸屋根から受雷部の上端までの高さとして設定できる。

受雷部システムにおける金属板又は金属管の最小厚さ

保護レベル	材料	厚さ t (mm)	厚さ t' (mm)
I~IV	鉄	4	0.5
	銅	5	0.5
	アルミニウム	7	1

- 備考 1. 金属板が雷電流によって穴があいてはならない構造のもの又は高温にさらされてはならないものである場合、その厚さはtの値を適用する。
 2. 金属板が雷電流によって穴があいても差し支えない構造のもの又は金属板の下部に着火する可燃物がない場合、その厚さはt'の値を適用する。



株式会社 内藤建築事務所

東京都中央区田中大塚町182
 代表者: 神先 誠司 (取締役) 03(5113)9
 事務所: 東京都中央区 東区役所 3(A) 階02291号

【一級建築士 登録第244140号】
 (構造設計一級建築士 第7053号)
 矢口 正宏
 【構造関係規定に属する部分に適合する】
 【一級建築士 登録第361974号】
 (設備設計一級建築士 第3999号)
 山本 篤史
 【設備関係規定に属する部分に適合する】

工事名 新有田市立病院建設工事 (本体工事)

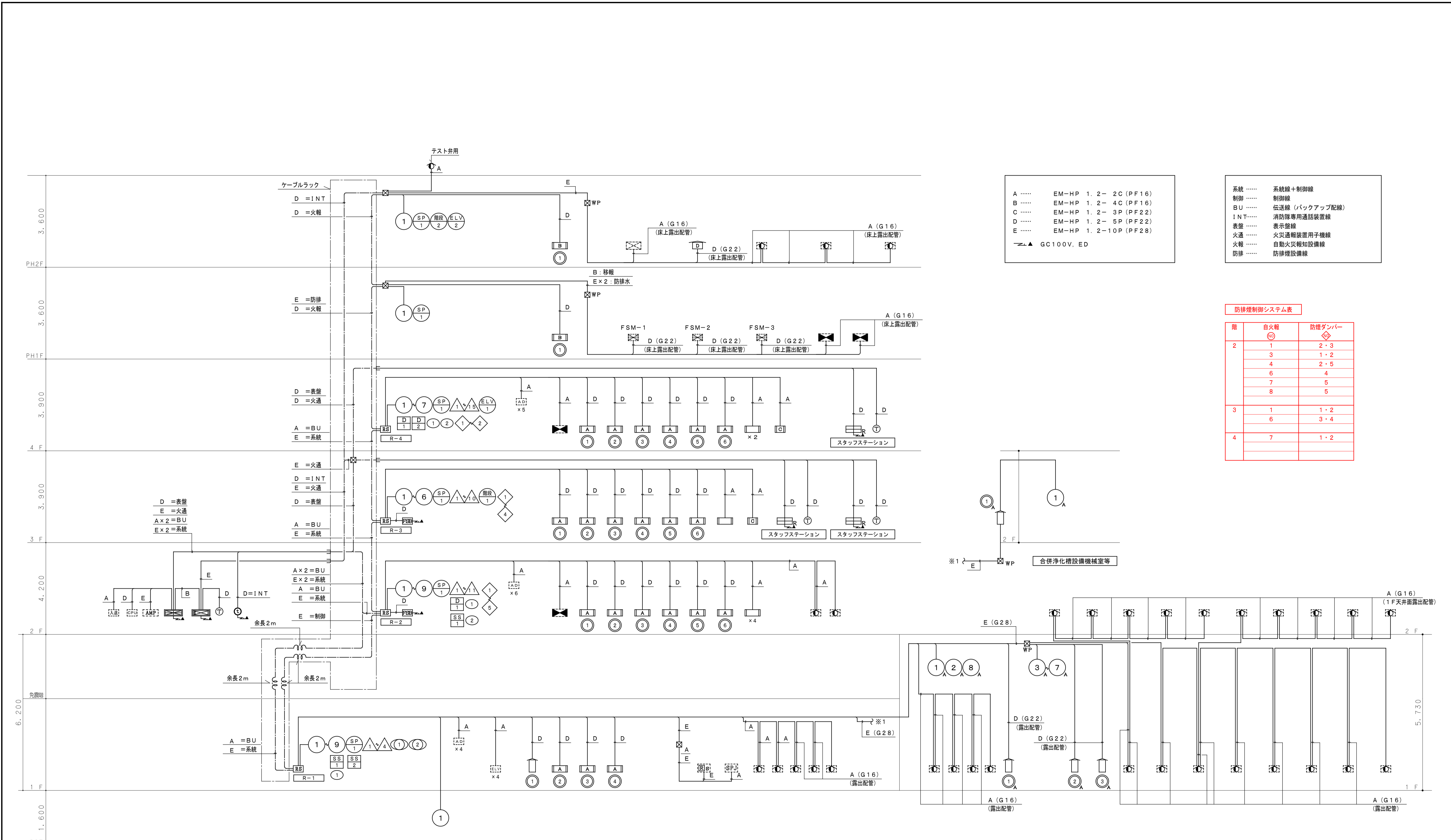
図名 新病院
 雷保護設備 東・南立面図

別添資料12

縮尺 A1: 1/200
 A3: 1/400

設計日

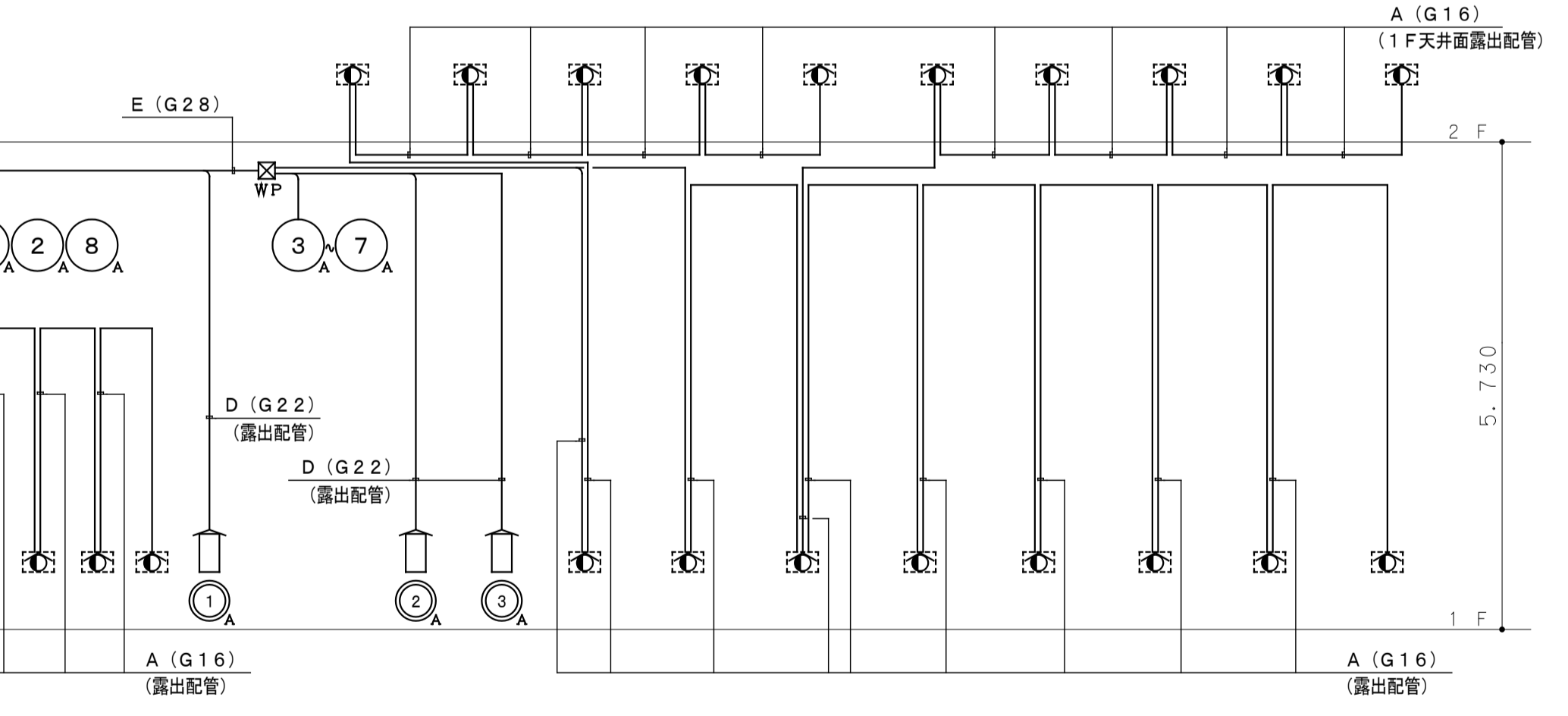
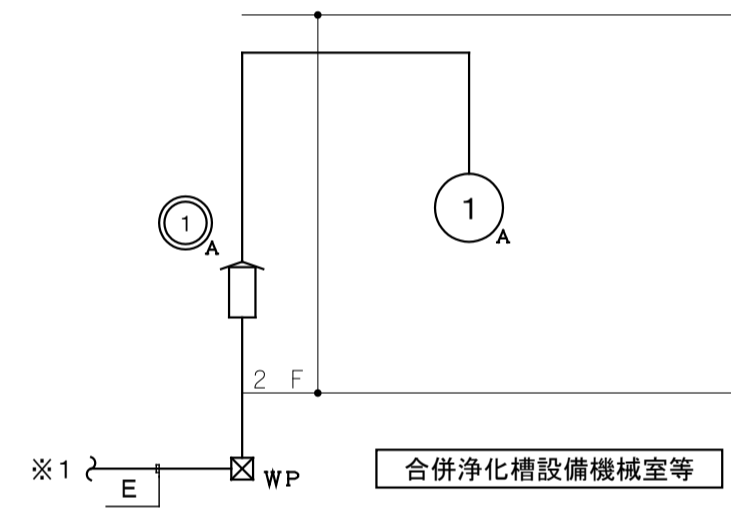
E-1202



- A EM-HP 1. 2- 2C (PF16)
- B EM-HP 1. 2- 4C (PF16)
- C EM-HP 1. 2- 3P (PF22)
- D EM-HP 1. 2- 5P (PF22)
- E EM-HP 1. 2-10P (PF28)
- ▲ GC100V, ED

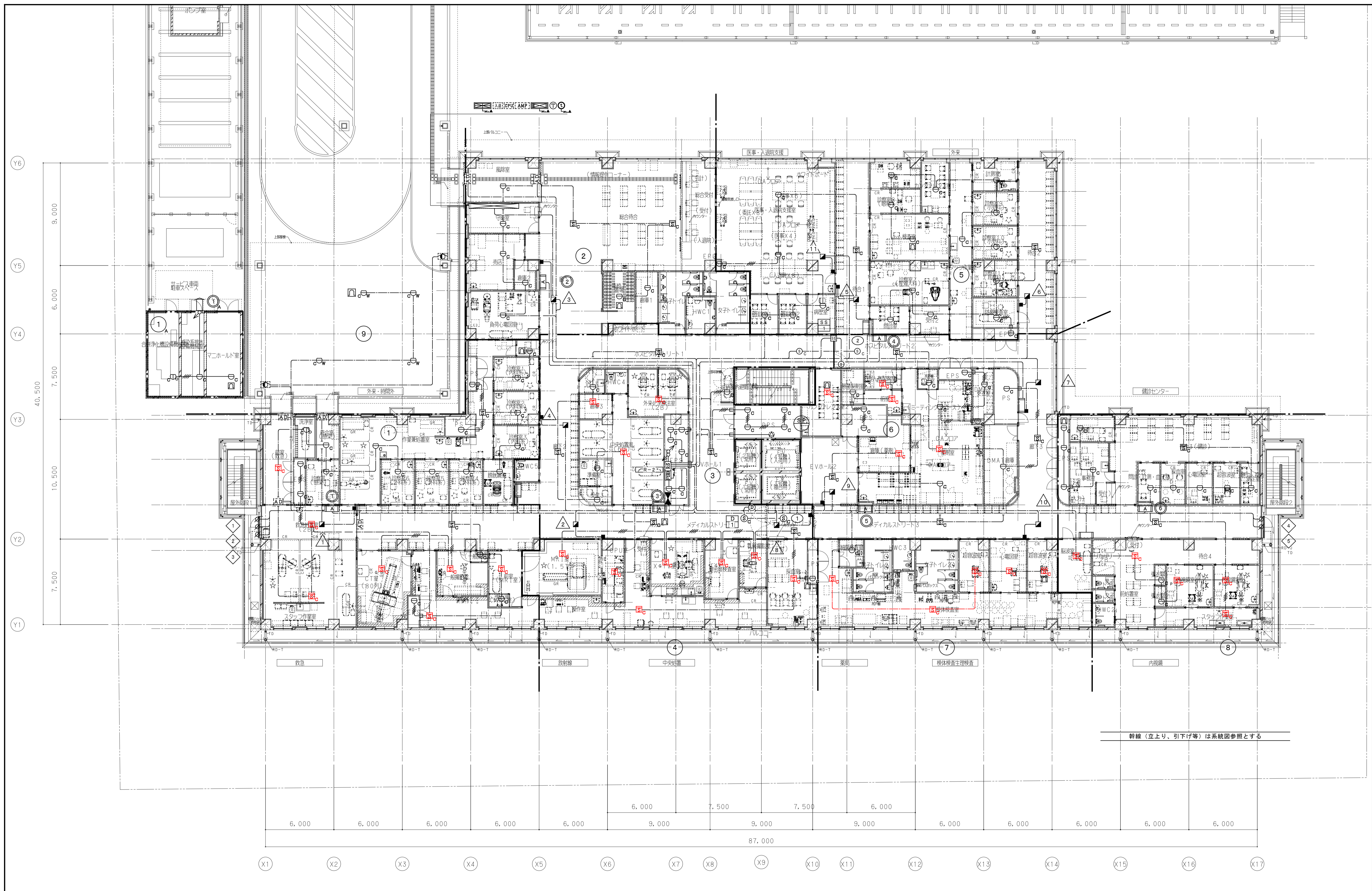
- 系統 系統線+制御線
- 制御 制御線
- BU 伝送線 (バックアップ配線)
- INT 消防隊専用通話装置線
- 表盤 表示盤線
- 火通 火災通報装置用子機線
- 火報 自動火災報知設備線
- 防排 防排煙設備線

階	自火報	防煙ダンパー	
2	1	2・3	
	3	1・2	
	4	2・5	
	6	4	
	7	5	
	8	5	
	3	1	1・2
		6	3・4
4	7	1・2	



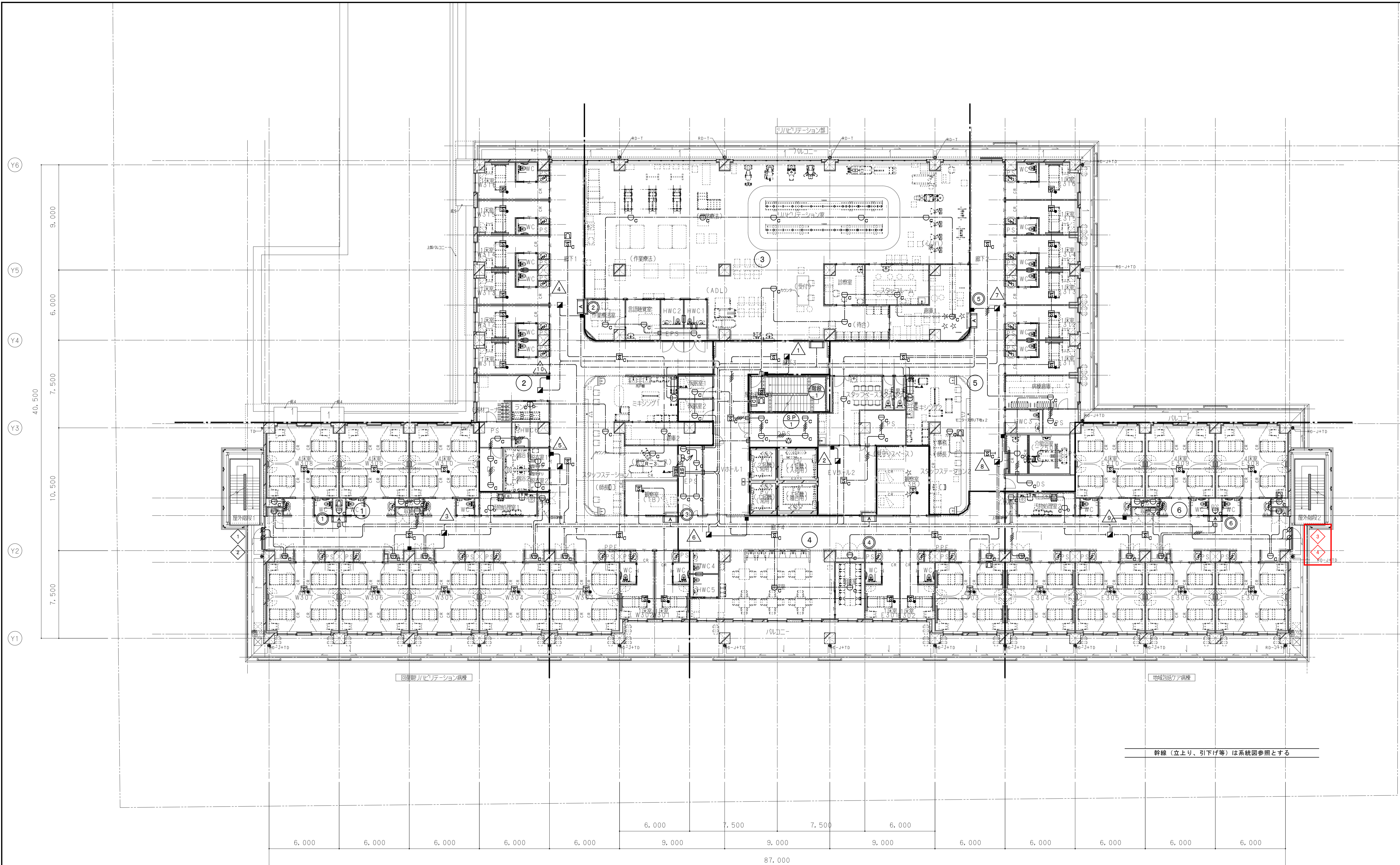
病院棟
幹線系統図

立体駐車場



幹線(立上り、引下げ等)は系統図参照とする

<p>株式会社 内藤建築事務所</p> <p>〒600-8588 京都市左京区田中大塚町1-8-2</p> <p>代表取締役 神先 誠司 (登録第39119号)</p> <p>代表取締役 渡辺 孝雄 (31A) 第02291号</p>	<p>【一級建築士 登録第2441号等】 【構造設計一級建築士 第7059号等】</p> <p>矢口 正宏</p> <p>【一級建築士 登録第361974号等】 【設備設計一級建築士 第3999号等】</p> <p>山本 篤史</p> <p>【設備設計一級建築士 第3999号等】</p>	<p>工事名 新有田市立病院建設工事(本体工事) 別添資料12 図章</p> <p>図名 新病院 火災報知設備 (自動火災報知・自動閉鎖)</p> <p>2階平面図</p> <p>縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300</p> <p>設計日 E-2206</p> <p>P.24</p>
---	--	---



幹線（立上り、引下げ等）は系統図参照とする

Y6 9.000
Y5 6.000
Y4 7.500
Y3 10.500
Y2 7.500
Y1

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17

6.000 6.000 6.000 6.000 6.000 9.000 9.000 9.000 6.000 6.000 6.000 6.000 6.000

87.000

<p>株式会社 内藤建築事務所</p> <p>〒600-0001 京都市左京区田中大塚町1-8-2</p> <p>代表取締役 神先 誠司 (登録第39119号)</p> <p>代表取締役 山本 篤史 (登録第39291号)</p>	<p>【一級建築士 登録第2441号等】 【構造設計一級建築士 第7052号等】</p> <p>矢口 正宏</p> <p>【構造関係規定に関与する部分が含まれる】</p> <p>【一級建築士 登録第361974号等】 【構造設計一級建築士 第3999号等】</p> <p>山本 篤史</p> <p>【関係関係規定に関与する部分が含まれる】</p>	<p>工事名 新有田市立病院建設工事（本体工事） 別添資料12 図章</p> <p>図名 新病院 火災報知設備 （自動火災報知・自動閉鎖）</p> <p>3階平面図</p> <p>縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300</p> <p>図番 E-2207</p> <p>P.25</p>
---	---	--